

—平成26年度の主な事業を紹介—

南北道路整備事業 (本山鶴飼線道路改良事業)
1億7,777万円



工事中の南北道

南北道路全線開通を目指して、市道本山鶴飼線の改良を進めています。また、扇橋付近からバス通りまでについては、早期完成に向けて、広島県に引き続き働きかけます。

少子化対策事業

1,225万円



女子カフェの様子

結婚から妊娠・出産・子育てまで切れ目ない支援を行っています。女性がライフプランを考える講座「女子カフェ」の開催や、出産費用を助成する「出産応援金」の支給、子育て支援総合サイト「ちゅちゅ」のリニューアルなどを行いました。

市制施行60周年記念事業

1,078万円



アンガールズの一府中駅長の様子

府中市は平成26年3月31日で市制施行60周年を迎えました。記念大使であるアンガールズの一府中駅長など各種記念行事に加え、各地域で多くの協賛事業が行われ、市民・企業・行政が一体となって60周年を祝いました。

府中市民病院改築工事
10億8,324万円



改築中の府中市民病院

健康を維持し、住み慣れた地域で安心して生活できる医療体制にするため、府中市民病院の改築を行っています。平成26年度は本体工事に着手し、工事に係る監理業務の委託を行いました。

地域医療対策事業 (病院の経営安定化など)

5億4,389万円



上下運動公園内のヘリポート

湯が丘病院や地方独立行政法人府中市病院機構の経営安定化を図るため、財政的支援を行いました。また、上下地域の救急医療体制を強化するため、上下運動公園内に救急医療用ヘリコプターのヘリポートを整備しました。

都市再生整備事業

6億9,969万円

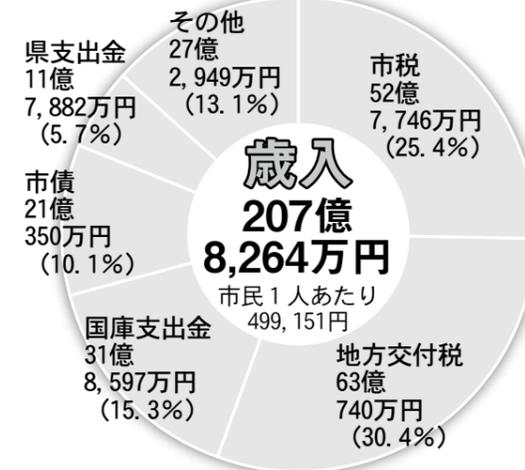


地域交流センター

市全体が持続可能な地域として確立するため、魅力と活力を創出する中心市街地の形成を目指した事業を行っています。

平成26年度は、地域交流センターの整備や道の駅整備事業の設計委託などを行いました。

■平成26年度一般会計の歳入・歳出決算の状況



👏 前年度と比較して…

▷歳入は8億1,849万円増加しました。

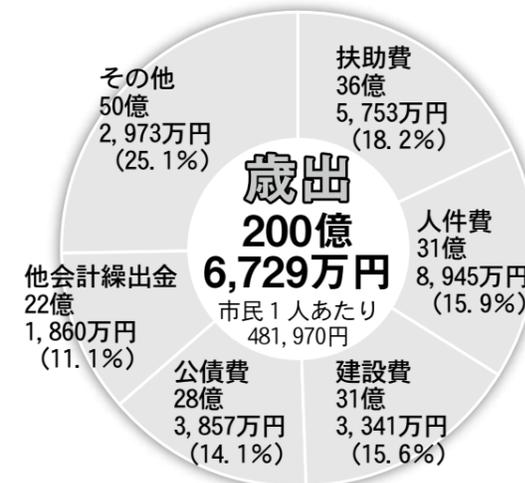
<歳入増加の主な要因>

- ・府中市民病院改築工事など、国から補助がある事業の増加により、国庫支出金が5億384万円増加しました。
- ・建設工事などの増加により、市債（市の借入金）が3億7,110万円増加しました。

▷歳出は8億6,554万円増加しました。

<歳出増加の主な要因>

- ・建設工事などの増加により、建設費が5億5,719万円増加しました。
- ・臨時福祉給付金などの増加により、扶助費が1億6,799万円増加しました。



▷歳入と歳出の差引額は7億1,535万円です。

▷財政調整基金（貯金）の残高は、約3億1千万円増の24億3,497万円となりました。

▷市債（借入金）の残高は、約4億2千万円減の241億5,068万円となりました。

【平成27年3月末人口41,636人】

■一般会計以外の決算の状況

会計	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険事業	43億8,300万円	43億5,319万円	2,981万円
公共下水道事業	13億2,820万円	13億2,811万円	9万円
介護保険事業	50億5,375万円	49億6,856万円	8,519万円
保険事業	50億765万円	49億3,276万円	7,489万円
介護サービス事業	4,610万円	3,580万円	1,030万円
後期高齢者医療事業	6億2,584万円	6億2,420万円	164万円
病院事業債管理	2億2,190万円	2億2,190万円	0万円

会計	区分	収入		支出		差引額
		収入	支出	収入	支出	
水道事業	収益的収支	上水道	5億2,225万円	5億828万円	1,397万円	
		簡易水道	1億331万円	9,980万円	351万円	
	資本的収支	上水道	2億3,378万円	3億1,647万円	△8,269万円	
		簡易水道	2,790万円	5,335万円	△2,545万円	
病院事業	収益的収支	湯が丘病院	13億5,929万円	18億8,646万円	△5億2,717万円	
	資本的収支		4,106万円	6,604万円	△2,498万円	

会計	収入	支出	差引額
地方独立行政法人府中市病院機構	34億4,974万円	35億5,646万円	△1億672万円

平成26年度決算から見る府中市

問い合わせ先
企画財政課
☎437119